

## 発達段階に即した主体的な学びを実現するための学力向上プラン（構想図）

<長崎市第四次教育  
振興基本計画>  
【個別施策】  
G1-1  
確かな学力の向上

**学校教育目標「光り、輝く、チーム南陽小」**  
**合言葉：「南の太陽の子、みんな輝け」**

- <めざす児童像>
- 自ら学び、探究し、未来を切り拓く力を身につけた子ども（知）
  - 互いを尊重し、協力し合い、豊かな人間性と社会性を備えた子ども（徳）
  - 心身ともに健康で、たくましく生きる力を身につけた子ども（体）
- <研究主題> 主体的に学びに向かう子どもの育成

家庭・  
地域の思い

令和の日本型  
教育の構築

**【学習規律を徹底し、安心して学べる授業】**

- ・ 全学年で「南陽っ子スタンダード（14項目）」に取り組む。

**【チェンジ・チャレンジの授業】**

- ・ 社会の変化に対応し、常に新しい教育の可能性を探求した授業を実践する。
- ・ 多様な教育方法を取り入れ、子どもたちの主体的な学びを支援する。
- ・ 常に前向きな姿勢でより良い教育を創造する。
- ・ 普段の授業を見せ合い、高め合う。

**【主体的に学びに向かう授業】**

- ・ 教師がファシリテーターとしての役割を担う授業を展開する。
- ・ 単元計画において、指導の個別化を行う時間を設定する。
- ・ 子どもが自己調整しながら学習を進められるよう工夫する。
- ・ 子どもが学習の見通しをもてるようする。
- ・ 学びを振り返る時間を設定する。

**【UDの授業】**

- ・ 全ての子どもが、同じ学びのステージに立てるよう、学習過程と指導のあり方を工夫する。
- ・ 特別支援教育の視点を重要視する。
- ・ 視覚的支援等、学習環境や、個々の特性に応じた工夫をする。
- ・ 教室前面環境の整備を行う。
- ・ 特別支援教育に関する研修を行う。

**【その他の取組】**

- ・ 12月に全学年で、学力調査を実施する。結果の分析、課題の把握を行い、対策を立てるとともに、次年度へ引き継ぐ。
- ・ i-check を実施し、学力調査とのクロス関係を把握して、改善を図る。

### <「南陽っ子」の特徴>

(国語科) 語彙力・読解力に課題がある。全国学力・学習状況調査では、目的に応じて、必要な情報を見付ける問題の正答率が低かった。

(算数科) ほとんどの学年において、全体的に課題が見られる。特に、思考力・判断力・表現力が問われる問題の正答率が低い傾向にある。